

# 特定非営利活動法人 認知症予防ネット通信

二月公刊の『魔法のことは』

理事長 高林実結樹

認知症予防を志している全国の仲間が困難に出会った時、元気が出るようにという願いから冊子ができました。

昨年十二月九日の全国研修会でのアンケートに答える冊子の読者から、「次の質問は？ それへの答は？ と次々関心が停まらない」とか、「守破離」とか言って頂きます。

守破離とは自然な成長ですが、願いとゲームリーダーが困った時の処し方で、いわば先輩からの申し送りです。認知症予防教室のリーダーは、仮に怒りを感じても、笑顔で対応しなければ、教室目的が壊れます。出しゃばるスタッフやボランティアさん、私語で邪魔をする参加者さん。この状況をリーダーはどのような

に捌くかと、同席者は鳴りをひそめて注目しています。こういう場合は笑顔対応で乗り越えて成長してくださいと、願っています。

教育勅語や聖徳太子の憲法とは目的が違つて、政治体系を守るための教育ではない、体験から得た技法の伝達、邪心のない教育です。ではリーダーの怒りはどこで解消するのか？心が育てばこの種の怒りは自然に昇華します。

怒りも一つの要素で、不当な差別や偽善に対する怒りは重要です。老人福祉法の理念や往事の認知症に対する制度への怒りから、私は平成五年に厚労省に単身直訴に行ったのが活動の始まりです。

認知症の症状にも、優しく対応出来ないタイプもある、虐待も殺人もいつでも起こり得る、そのような極限の怒りの処方箋に冊子はなり得て

いない。だからこそ予防や症状改善が必要不可欠、ひいては極限状況を二、三步手前で予防する！ 広い目標を成就するための公刊です。

通信は会員宛に毎号、3部とか5部とか送つて、御近所やお知り合いへの配布広報をお願いしています。が、結果は全く見えませんでした。ところが、この度初めて未知の方から「郵便受けに通信が入っていた、他の号も読みたいので地図を見てもらいに行く」という電話です。何方かがご近所に配布して下さいましたのです。この冊子もお目にとまるでしょう。配布のご協力が理解者を増やした！ 大きな喜び・支えです。◇

怒りも一つの要素で、不当な差別や偽善に対する怒りは重要です。老人福祉法の理念や往事の認知症に対する制度への怒りから、私は平成五年に厚労省に単身直訴に行ったのが活動の始まりです。



平成29年2月公刊

**39号**  
2017年4月5日  
編集・発行  
NPO法人  
認知症予防ネット  
〒611-0031  
京都府宇治市広野町  
一里山15-10  
電話  
0774-45-2835  
FAX  
0774-45-2793  
メール  
npo@n-yobo.net  
HP <http://www.n-yobo.net/>  
FB <https://www.facebook.com/yobo.net/>

**安心バッジ**  
認知症による身元不明の方が一人でも助けられればと考えたオレンジ色の缶バッジ。裏側に名前・郵便番号・連絡先電話番号を書いたシールを貼る。

NPO法人認知症予防ネット

**平成29年度特定非営利活動法人認知症予防ネット  
第13回通常総会ご案内**

日時：平成29年5月27日(土) 13時30分～16時終了予定  
場所：ゆめりあうじ4階大会議室  
京都府宇治市 JR 宇治駅隣 宇治市男女共同参画支援センター

**総会**  
第1号議案 平成28年度事業報告  
第2号議案 平成28年度決算・監査報告  
第3号議案 平成29年度事業計画(案)  
第4号議案 平成29年度予算(案)  
第5号議案 役員改選

**懇談会** 参加費1人500円

### 高林魔法使いの「魔法のことば」を 読んで思ったこと

コムケアセンター事務局長 佐藤 修

昨年開催された「全国リーダー研修  
・交流会」の参加者のアンケートすべ  
てに、一つひとつお答えになった高林  
さんの「魔法のことば」を読ませても  
らいました。

高林さんのゲームの実践の現場が彷彿としてきます。簡単な言葉のやり取りに見えますが、長年、ゲーム実践を続けてきた高林さんの思いが、短い一言一言に凝縮されている感じで、まさに「魔法の言葉」だと思いつつながら、楽しませてもらいました。

高林さんのゲーム実践や講座とはまた違った、たくさんの気づきが散りばめられているように思います。

私は、横から、このゲームの広がり  
にささやかに関わらせてもらっている  
だけのものですが、そんな立場から、  
勝手な感想を寄稿させていただきました。

読み終わって強く残った印象は、ど  
んな状況も悩みも、すべて前向きに活  
用しているという、高林さんのした

たかな、そしてしなやか姿勢です。

難しいという声には、だから面白い  
と応え、間違ってしまうという悩みに  
は、それがみんなの気持ちをやわから  
くするといい、いろんな人がいて大変  
だと言われれば、それこそがみんな一  
緒に暮らせる社会のミニ版だという  
見事としか言いようがありません。

なぜそこまで肯定的になれるのか。  
それは高林さんが、このゲームを自分  
にも必要なものと位置づけ、まさに  
ゲームと一体化しているからでしょ  
う。誰かのためにやっているのではな  
く、自分を含めた、みんなのために、  
そしてみんなと一緒にやっている。で  
すから、どんなことも活かせる「資源」  
にできるのでしょう。

高林さんは、「みんなの」力がうれ  
しいと繰り返し書いています。

ゲームを通して、リーダーも参加者も  
一緒になって、みんなのゆるやかな、  
あつたかな、つながりが育っていく。そ  
ういう高林さんの答えをよんでいると、  
「みんなの」という名前にはとても深い  
意味があることが伝わってきます。ま  
さに「みんなの認知症予防ゲーム」は、

「みんなをつなぐ魔法のゲーム」なのです。

アンケートに書かれている参加者の  
声はさまざまで、ゲームの捉え方もさ  
まざまです。そうした問いや悩みに対  
する高林さんの答えはとても柔軟です  
が、すべてに通ずるものがある。

高林さんの言葉の底を流れているの  
は、ゲームリーダーこそが、一番、ゲ  
ームの恩恵を受けているという喜び、  
そしてそういう仲間が増えてくること  
への喜びです。

認知症になってしまった人を救い出  
そうというよりも、自分も含めて認知  
症など心配せずに、明るく元気な生き  
方をしようというのが、高林さんの願  
いのように感じられます。そして、少  
なくとも高林さんはそれを見事に実現  
されている。だからこそ、認知症にな  
ってしまった人も戻ってくる。そんな  
気がします。

この小冊子には、高林さんの長年の  
蓄積してきた体験知がぎつしりとつま  
っています。ノウハウを超えた、心の  
持ち方や生き方もたくさん示唆されて  
います。

いくらゲームが上手でも、大切な

は人間性であり心の持ち方。その人と  
一緒にいるだけで、安心して元気にな  
る。ゲームをやるあなたが見られてい  
るよ、という声も聞こえます。

リーダーのやさしさやあたたかさ、  
他者を思いやり、気遣う生き方。認知  
症といわれている人たちには、それが  
見えてはいるはず。そこを通じて、  
参加者の心がつながっていく。形だけ  
のゲームでは、一見、どんなに盛り上  
がったように見えても、人は変わらな  
い。ゲームのやり方の上手下手よりも、  
借り物のゲームではなく、自分のゲー  
ムを育てていくことがいいと高林さんは  
言っているような気がします。

そしてそれは、たぶん自分の生き方  
につながっていく。ゲームリーダーの  
人たちと付き合っていると、ゲームを  
やらなくても、なにか「やさしさのシ  
ヤワー」が感じられるのは、たぶんそ  
のせいでしょう。

最後にささやかな提案もさせてくださ  
い。

みなさんの声の中には、どうしたら  
人が集められるか、資金をどう確保し  
たらいいか、などという解決したい問

題がたくさん出されています。

しかし、高林さん流に考えれば、問題は多ければ多いほど面白い。問題が起こる理由は、多くの場合、自らの側にあります。人や資金が集まらない理由を誰かのせいにしてはいけません。それは、自らのやり方を考え直す最高の材料です。それに気づけば、むしろそこにこそ、前に進む力の素がある。高林さんの言うように、すべてはチャンスなのです。

でも一人で考えていても、なかなか知恵は出てこない。

そこで、提案なのですが、今回、高林さんに回答をもらったようなことを、今度はみんなで集まって、悩みや課題を解決しあうワークショップを開いたらどうでしょうか。たくさんアイデアが出てきて、たくさん気づきももらえるはずです。

そしてその結果を、今回のような小冊子にし、仲間にも伝えていく、さらには読んだ人からまたアイデアをもらい、みんなでその内容を豊かにしていく。ゲームに参加された認知症といわれる人にも知恵を出してもらいましょう。リーダーには見えてこない、素晴らしい知恵がきつとあるはずですよ。それを繰り返し、それこそ

「みんなの認知症予防ゲーム百科事典」ができるでしょう。お互いの知恵も共有され、お互いに支え合える関係も深まっていく。

最後にもうひとつ、余計なことを書きます。

そろそろ「認知症予防」というタイトルを外したらどうでしょうか。

アンケートの中にも、「認知症予防」だと認知症カフェでは扱いにくいという声がありました。そこで、思い切って、「高林ゲーム」にしたらどうかと思いました。

高林さんは嫌がるでしょうが、このゲームを通して、積み上げてきたゲーム精神は、まさに高林さんの長年の実践のなかで育ってきたのですから。

「高林ゲーム」にこだわる必要はありませんが、いずれにしろ、みんなが集まって、ゲームの名称も決めるワークショップをしてもいい時期になってきているような気がします。

このゲームが、認知症予防というところが問題にならないような社会を目指す大きな力になっていくことを願っています。

### 全国津々浦々に

### ポストの数ほどに



「みんなの認知症予防ゲーム」は  
広がり始めました！

### 各地からのお便り

『お母さん すごいねえー！』

埼玉県 白石裕里子

二月八日のお便り

私は平成二十八年七月にリーダーを取らせていただき、コツコツと道具を揃え、今年二月十五日に初めて「みんなの認知症予防ゲーム」リーダーとして、高齢者施設でデビューをする予定です。

私は在宅介護をしておりまして、介護度4の母は認知症ですが、ゲームを忘れないように母と二人でできるものを作ってあります。母は元々ピアノ教師でもあったので、指先が器用で、遊びはすべてスムーズにやるので、私が心から驚いて『すごいねえー！』と

言うとも何とも言えない笑顔になります。グーチョキパーをどんどん速くしていくと、私はおかしく思わず大笑い。母も笑っておどけてみせます。

二人きりでやってもこんなに楽しいのですから、大勢の方とやったらどんなにか笑顔がはじける事でしょう！！  
少しづつマイペースではありますが、頑張りたいと考えております。

### 瞬時の変化



三月一八日のお便り

沈丁花が香り、コブシが真っ白な花を咲かせている埼玉からのお便りです。

今日は近くの特養の介護者サロンで『みんなの認知症予防ゲーム』をやって下さいと頼まれて行って来ました。

私は普段ここで、月に一回、お元気なお年寄りの方々と笑いヨガをやっていますが、今回はぜひこのゲームを体験してみたいとのこと。在宅介護している母（介護度4認知症、車椅子）を連れて行って来ました。

参加者は特養の利用者さん3名（車椅子）とスタッフ含めて総勢20人でした。30分という事でしたが、ゲーム1、

2をゆつくりやり、最後にシーツ玉入れを2チームに分かれてやり、結局50分やらせていただきました。

ゲーム2の頃には、皆さん笑顔が溢れ、シーツ玉入れの時は、かなり盛り上がりました。最初静かそうだった方が、ものすごい負けん気を出し、お隣の方がちよつと引いてしまうような場面もありました。

終わつた後に、スタッフの方に、利用者さんの変化があるか伺ってみました。すると、普段はスプーンを掴むのもやつと、で、なかなかご飯も上手に食べられない利用者さんが、指遊びやお手玉回しを上手にされていたとのこと。スタッフは出来ないのではないかと見守っていたようですが、『本当は出来るんですね』と感心していました。周りの方々とのコミュニケーションの中で、意欲が刺激されたのだなあとその瞬時の変化に驚きました。

さて、帰宅した後の母ですがいつもより表情が豊かで饒舌、私がお手玉をチクチク縫っていると、何に使うの？と聞いてきました。(昼間のことは全部忘れていたんですね) こうやってゲ

ームをするんだよ、と二人で向かい合つて、お手玉回し。楽しそうにやっていました。

そして、昔縫い針を銀座に買いに行った事とか、お母様は(私の祖母)オーバーも縫ってくれたの、とか、くけ縫いの上手なやり方など、思い出話が次々に出てきました…

生き生きとした表情で、まさに『思いのシャワー』でした。ますます面白くなってきました!! これからも沢山学んでいこうと思います

### 脳が目覚めた!

長野県佐久市 相馬留美

先日のゲームでお会いした方からとても貴重な感想をいただきましたので、ご本人の許可を得て書かせていただきます。

その方はゲーム経験ある女性です。

昨年11月交通事故により負傷(左側頭部、前胸部、頸部打撲)事故後も首、顎、耳まわりの違和感と頭のぼーつとする感じが残っているそうです。

そして5ヶ月ぶりにゲームに参加され

ました

「個人でリハビリはしていたけれど今日のゲームは一人ではできないリハビリと思った」

「指も顔もこわばりが緩んだ感じ。指を動かすことで脳の中が動いているのがよくわかった」

「頭がぼーつとするのが楽になったし指の感覚がよみがえってきた」

「一つの手になった」

「ビンゴゲームで紙を三つ折りにしなきゃいけないのに二つ折りにしていたのはつとした。頭の中でリーダーの言うことがインプットされてなかったのに気づいた」

「足取りが軽くなっているし、目の調子もピントが合ってきた感じがする」

2時間弱のゲームで体の変化を感じたそうです。ご本人はとても喜んでおられました。

### 手足使う脳トレに笑いの渦

平盛デイで認知症予防教室

平盛学区福祉委員会

京都府南部の山城地方(宇治市以南)を中心に発行している日刊の地域紙



手遊びを楽しむ参加者(平盛デイサービスセンター)

「洛南タイムス」3月8日8頁掲載

宇治市の平盛学区福祉委員会(中川調由委員長)主催の第23回認知症予防教室が5日、平盛デイサービスセンターで開かれた。学区福祉委の小地域ネットワーク推進部(大久保定枝部長)が8年前から定期的に開催。認知症予防に向けた活動を盛り広げているNPO法人認知症予防ネット(高林實樹代表)のスタッフの指導で認知症予防に効果があるという「みんなの認知症予防ゲーム」の手遊びやゲームを楽しんでいる。楽しいには福祉委員会のスタッフを含む50人が参加し、歌に合わせた手遊びやゲームを繰り広げ、会場は参加者たちの笑い声に包まれた。【岡本幸一】

活動報告

京都府宇治市 横川ひとみ

私は青い鳥リーダー養成講座二十一期修了後、神明カフェを中心とし、単発で要請のあったところに向いて活動しております。神明カフェ以外の活動は

平成28年4月折鶴サロン(折居台)

5月ひまわり会(西小倉福祉センター)

6月すこやか教室OB会(愛の郷)

6月小倉蓮の実クラブ(小倉公民会)

8月ふれあいサロン川夏(函館市場横)

10月奥山田喜老会(宇治田原町)

11月和みグループホーム(伊勢田)

12月折鶴サロン(折居台)

平成29年1月京都府女性の船リーダー研修会(京都駅前キャンパスプラザ)

2月槇島地域サロン(下村集会所)

どこも内容はほぼ40分程度でゲーム1, ゲーム2などをしていきますが、自分の脳トレになっています。

ほほえみカフェ

大阪市 東中浜地域福祉支援員

上堀榮子

みんなの認知症予防ゲーム「ほほえ

みカフェ」が東中浜地域で、平成28

4月にオープンしました。「青い鳥リ

ーダー養成講座」を受講した4名のリ

ーダーを中心に(城東・放出包括セン

ター2名を含む)第3水・土の午後2時

から月2回開

催しており、

早1年が来ま

す。

はじめは参

加者(ボランテ

ィアを含む)10

名の「ほほえ

みカフェ」が、現在約30名の大所帯に

成つてきました。来所時の不安な様子

とうつて変わり、リズムを楽しまれた

り、ジャンケンたすき取りゲーム・シ

ーツ玉入れ等では参加者皆さんの笑い

声が大きく、楽しまれる様子が見られ

ます。「明るくなった」「会話が多くな

った」「積極的・意欲的になった」など、

ゲームの成果も少しずつ目に見えてき

ました。学ぶ姿勢を忘れることなく、

出来ない人が嫌だなあと思わないよう

に、やさしさのシャワーと意図的な働



Weフォーラム 2017 in 広島

3月5日

分科会②

「みんなの認知症予防ゲーム」学習会

▽Weフォーラムとは雑誌「We」(ラエミ

ックス(有編集発行隔月刊誌)一人ひとりが

大切にされる社会の実現をめざし、知恵や

情報の交換、ネットワークづくりができる

《場》として、毎号さまざまなテーマをと

りあげている。その読者をはじめ色々な人

があつまる、年に一度の恒例イベント。△

NPO法人認知症予防ネット

副理事長 中村都子

当法人の活動の目的と「みんなの認

知症予防ゲーム」が認知症の枠を越え

て、脳梗塞の後遺症にも、自閉症のお

子さんにも、災害に遭われた人の癒や

しにも効果があるという最新の情報を

伝え、ゲーム体験をして頂きました。

学習会終了後のアンケート

○とても勉強になりました。

(女、60代、東広島市)

○ほとんど介護施設関係の方々のよう

に見受けられました。私は、母がアル

ツハイマーにかかって8年介護した関

係から(80才で発症・自宅介護)自

分にもいずれかという気持ちから参加

しました。少しでも認知症発症が遅れ

る努力をしたく思っています。内容は講

師の方とてもよかったです。

(女、70代、市内)

○デイサービス勤務ですが、これまで

やっていたゲームもありましたが、新

しいゲーム、その意義もよくわかり、

とても楽しい分科会でした。

(男、50代、市内)

○参加者のプライドを大事にする、き

ずつけないという前提がとてもよかつ

たです。

(女、60代、市内)

○説明がわかりやすかった。

(男、30代、市内)

○すぐ職場で使え、わかりやすい内容

だったので、楽しく笑いながらできた

から、また機会があつたら参加したい

です。

(男、20代、市内)

○勉強になりました。

(男、30代、市内)

○声かけの仕方等とても勉強になりま

した。楽しかった。(女、40代、市内)

○たいへん勉強になりました。楽しく



できました。(40代、市内)

○認知症予防ゲーム楽しかったです。やさしいシャワー心がけたいと思います。(50代、市内)

○手遊びはなかなか口と合わず、思ったより自分のできなさにびっくりしましたが、楽しかったです。ありがとうございました。(女、40代、市内)

○沢山の脳トレを知り得て実践出来て楽しかった。今後仕事場で活かせたらいいなと思いました。(20代、市内)

○とてもよかったです。ステキな講師の方で大満足です。(女、60代、呉市)

○楽しさを実際に感じながら、簡潔にそれぞれのゲームの目的や注意点を知らることができた。(女、30代、市内)

○体操だけでなく、リーダーとしてのコツやポイントを知ることができ、とても勉強になりました。トークも大切だと思いました。施設での体操、認知症カフェでの体操に活用したいと思います。ありがとうございました。

(女、30代、市内)

○デイサービスにてレクレーションをしています。毎日どんな事をするかなど、スタッフで考えても「ゴルフ」

「わなげ」などで順位をつけてしまうゲームばかりで「私は苦手だから・・・」

「手が動かせないから」と言う方も居て、全員でと言う事ができませんでした。今回参加した事でみんなで楽しめるゲームをやって行こうと思います。一人一人の個人ゲームではなくて、利用者同士のコミュニケーションを大事にして行きたいと思います。

(女、30代、市内)

○すぐにつかえそうなものがたくさんありました。(女、40代、市内)

○楽しいゲーム 自然と笑いが出るゲームの中で参加者さんにはじをかかせない 参加者さんが主役であること 楽しみの中から自信がつく 笑いができる 脳を活性化させる 参加できてとても楽しかったです。職場に持ち帰り利用者さんと一緒に楽しいレクをして行きたいと思いました。(女、50代、市内)

(女、50代、市内)

○レクの進め方、盛り上げ方がよくわかりました。一方的な押しつけになっていた部分もあったので、気を付けます。

(女、40代、市内)

○自身が刺激を受けて、「又、明日から頑張ろう」と思った。利用者様ので

きる事を改めて見直そうと思った。(女、60代、市内)

○知らない人達もいる中でゲームをすることでしゃべることもでき、この色々な面でゲームは大切であり、ふれあうことが大切であると思います。(女、50代、市内)

(女、50代、市内)

○とても楽しく、初めてのゲームばかりで勉強になった。(女、40代、市内)

○どうやったら笑いがとれるのか、利用者様への気遣いの仕方を知り得ました。(女、20代、市内)

(女、20代、市内)

○包括支援センターで健康教室をしています。いつも不安を抱えつつ、「楽しまれてるのだろうか」と思っていました。できていた事もありました。気づかなかった事もありました。自信を持つて今後はできそうです。それは何がどうして良いか理解できたからです。とても参考になりました。(女、50代、市内)

(女、50代、市内)

### 認知症予防 笑って楽しく

愛媛県 西条市

NPO認知症予防ケアサロン笑日代表

丹下隆清

愛媛新聞二〇一七年一月四日掲載



西条市丹原町池田の丹原公民館などで二〇一三年から講座を主催している。

二〇一六年十二月上旬、公民館に市内外から40〜80代の24人が集まった。このとき愛媛新聞の取材を受けた。

『団塊の世代が全て75歳以上となる二〇二五年には高齢者の5人に1人が成ると推計される認知症。発症しないための予防策として、ゲームで脳と活性化を図る講座が県内で開かれている。ポイントは「なごやかに、楽しんで、大笑い」。

現場をのぞいてみた。このような前置きで、ゲームを知らない人にも分かるようにゲーム一つ一つを詳しく説明した記事が掲載された。◇

### 神奈川県相模原市の取り組み

相模原市には健康づくり普及員という市が養成して市民の健康づくりの普及に取り組んでいる団体がある(会員数約170名)。この団体に介護予防の体操教室(元気倶楽部)を委託しており、月1回市内各地区の公民館で実施し、体操の最後に毎回交流タイムという時間を15〜30分程度設けその中で各地区で自由に参加者の交流を深める取組を行っている。

この交流タイムでのレパトリーを増やし、参加者の親睦と脳活を主体としたメニューを習得したいという要望があり「みんなの認知症予防ゲーム」が一番要望に沿っているという判断から、研修会が開かれることになった。研修対象は介護予防の普及啓発や元気倶楽部実施のバックアップを行う部で今回の研修の企画・運営を行う介護予防部員約50名と普及員全員100名程度。普及員の中には本年度実施したゲームリーダー養成講座の修了者も数名いる状況。

研修会開催の背景には平成27年に高林理事長の講演、28年に中村副理事長

が養成講座を相模原市保健福祉局保険高齢部高齢者支援課からの依頼で実施したことがある。

三月初旬「みんなの認知症予防ゲーム」の2回の研修会は有意義に終了。研修会の様子は録画され、DVDにして覚えきれっていない部員を対象に提供。相模原市中で、体操の後にコミュニケーションゲームとして、取り入れられることになった。

平成29年度の地域活動補助金事業の補助対象となる活動の例の一つに認知症予防に効果のあるゲーム(みんなの認知症予防ゲーム等)として取り上げられている。(文責 原)

相模原市健康づくり普及員連絡会  
みんなの認知症予防ゲームセミナー  
**150%の出席!!**

東京都府中市 加藤良江  
相模原市からのご依頼で「みんなの認知症予防ゲーム」セミナーを担当しました。

セミナーの前日、出席は60人くらいとご連絡をいただいたので、ゲーム用品を100人分用意しましたが、20人分減



らして行ったところ、全普及員170名の中、参加者数96名!うれしい悲鳴です。

研修内容について、いつもの体操の後に2〜3、行なうということ、道具をあまり使わないのでできるものという制限をいただき、ステップ1とステップ2、言葉集め頭文字集め、風船バレー、ビーチボールサッカー、真剣

ジャンケンをしました。今まで、色々なレクリエーションの研修を受講されたようなのですが、皆さん、その時は覚えても、いざやろうとすると、思い出せずに、中々みんなの前でやるのは、難しかったようです。そこで、セミナーの内容をDVDにして、普及員さんの練習用にして、公民館で、伝えるそうです。スゴイ取り組みです! この取り組みが日本全国に普及するように、願っています。ポストの数ほ

ど、が、ボランティアリーダーさんからも、声が上がってきています。◇

認知症予防は仲間と楽しく賑やかに  
奈良市 社会医療法人平和会吉田病院

和(なごみ) デイケア

善積恵子

認知症予防ネット通信をいつも拝見し、勉強させて頂いています。吉田病院でも運営の方法を試行錯誤しながら取り組んできました。この度、院内広報に載り、さらなる普及に努めたいと思っております。スタッフの力量も高め、地域に根ざしていけるようがんばります。◇

ご紹介の広報は 一頁全面ゲームの紹介です。出来れば全面ご紹介したいのですが、残念ながら紙面の都合で果たせません。全体像は縮図で想像して頂き、和デイケア様の活動部分を拡大して掲載。(次頁)



認知症予防の  
企画は大盛況

私たちが認知症予防  
についての企画に取り  
組んだのは2011年  
から。スリーA教室を  
全国に広めていたNP  
O法人「認知症予防ネ  
ット」の代表である高  
林さんの講演会が最初  
の取り組みでした。

その後、手始めに講  
座を4回にわたって開  
いてみると多数の方の  
参加があり、また、ス  
リーA以外にも、食事  
や運動などのテーマを  
決めて院内の専門職に  
よる講演会を開くと、  
吉田病院の会議室が満  
員になるほどの盛況ぶ  
りで、これは地域のな  
かではもっと多くの  
人が認知症予防につ  
いて意識を持たれてい  
るに違いない！とい  
う感触をつかみまし  
た。

もっと地域の  
なかで広めたい

継続することで広ま  
ってきた教室です。  
いまでは健康友の会  
生駒支部やならやま診  
療所支部のように、教  
室の参加者がリーダー  
となつて自主的に取り  
組まれているところも  
あります。

今後ますます吉田病  
院以外の地域に広めて  
いくうえで、地域で率  
先して取り組みを考え  
ておられる方、地域づ  
くりの手段を探してい  
られる方にも参加して  
いただきます。



事務局からのご案内

会員募集

私たちは「みんなの認知症予防  
ゲーム」が全国津々浦々まで広がる  
ことを願って活動を続けていま  
す。ご賛同下さる方は、NPO法人  
の会員となつて、この活動を支  
援していただきますようお願い  
いたします。

正会員

入会金2,000円 年会費6,000円

賛助会員

個人 入会金 1,000円

年会費(1口)2,400円 1口以上

団体 入会金 3,000円

年会費(1口)24,000円 1口以上

会員 通信無料

郵便振替口座

加入者名

NPO法人認知症予防ネット

口座番号

00900-1-223642

問合せ先

NPO法人認知症予防ネット

事務局

電話 0774-45-2835

メール npo@n-yobo.net

申込募集

KBSカルチャー 本校

脳活性化 みんなの認知症予防ゲーム  
ゲームリーダー養成講座

開講日: 4月22日土曜日・4月23日日曜日

時間: 2日とも10:00~16:00 (お昼休み1時間あり)

受講料: 12,000円(全2回分、税別) 教材費:1,500円(税別)

備考: 2日間受講された方には修了証を授与させていただきます。  
お電話にてご予約をお願いします。

※偶数月の第4日曜日とその前日の土曜日(2日間)

講師: 中村 都子(くにこ) NPO法人 認知症予防ネット理事  
介護福祉士・介護支援専門員、認知症予防専門士

講座のお問い合わせ

TEL: 075-441-4161 (月-金曜日 10:00-18:00 土曜日 10:00-16:00)  
日曜日・祝日は休み

FAX: 075-441-4169 (24時間受付)

住所 京都市上京区烏丸上長者町 KBS 京都放送会館3F

刊  
行  
物



新刊 魔法のことは 1000円

カンタンではないけれど

諦めないで!がんばって!

全国からのリーダーさん達から  
寄せられた声に高林理事長が  
一問一答式に書いた回答エール

- ・認知症予防ゲーム - テキスト・講義録
- ・認知症に不足するものは楽しい思い
- ・副読本 スズメの学校編
- ・韓国における認知症予防ゲームの実践から学ぶ 講演記録
- ・認知症を早期で食い止めよう! シンポジウムの記録(絶版)



活動報告 2017年1月~3月

1月

5日	研修会	大阪府八尾市	地域包括支援センター緑風園
8日	教室	滋賀県大津市	比良里山クラブ
11日	教室	京都府井手町	井手町地域包括支援センター
11日	教室	木津川市	木津川台ゆーゆークラブ
12日	養成講座	青い鳥リーダー養成講座 32-④	
13日	教室	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課
13日	養成講座	大阪府大阪市	大阪市城東区社会福祉協議会
13日	教室	京都市右京区	西院脳活性化教室
14日	養成講座	兵庫県神戸市	サンケアホーム神戸三宮
14日	教室	京都市北区	鳳徳サロン
16日	養成講座	大阪府枚方市	枚方市社会福祉協議会
16日	教室	京都府宇治市	GH 鳳凰榎島教室
16日	体験会	京都府八幡市	くつろぎ
18日	養成講座	大阪府枚方市	枚方市社会福祉協議会
19日	養成講座	京都府宇治市	青い鳥リーダー養成講座 32-⑤
19日	研修会	京都府京田辺市	京田辺市社会福祉協議会
20日	教室	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課
20日	教室	京都市山科区	ウイズフィール京都山科健康教室
21日	教室	京都市中京区	円町サロン第8回
23日	養成講座	大阪府枚方市	枚方市社会福祉協議会
24日	教室	京都府宇治市	とんがりやまのてっぺん DE
24日	教室	大阪府大阪市	大阪市旭区地域包括支援センター
25日	教室	京都府笠置町	笠置東部サロン
25日	養成講座	大阪府枚方市	枚方市社会福祉協議会
26日	教室	京都府宇治市	北宇治地域包括支援センター
26日	教室	京都府宇治市	NTT ふれあい光
27日	教室	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課
28日	養成講座	兵庫県神戸市	サンケアホーム神戸三
28日	養成講座	京都市中京区	円町教室
28日	教室	京都市北区	鳳徳サロン
29日	養成講座	京都市中京区	円町教室
30日	養成講座	大阪府枚方市	枚方市社会福祉協議会
31日	研修会	京都府精華町	高齢者総合福祉施設神の園

2月

2日	養成講座	京都府宇治市	青い鳥リーダー養成講座 33 - ①
3日	教室	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課
6日	講演	滋賀県草津市	老上西市民センターやすらぎ学級
8日	教室	京都府井手町	井手町地域包括支援センター
8日	教室	木津川市	木津川台ゆーゆークラブ
10日	教室	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課
10日	研修	大阪府八尾市	緑風園
10日	教室	京都市右京区	西院脳活性化教室
12日	教室	京都府宇治市	宇治明星園養護老人ホーム
13日	教室	京都府宇治市	ふあみりいの会同窓会
13日	教室	京都府宇治市	GH 鳳凰榎島

15日	教室	京都府城陽市	まごころ城陽①
16日	養成講座	京都府宇治市	青い鳥リーダー養成講座 33 -②
16日	教室	京都府宇治市	NTT ふれあい光
17日	教室	京都府笠置町	笠置南部サロン
17日	教室	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課
17日	教室	京都市山科区	ウイズフィール京都山科健康教室
18日	教室	京都市中京区	円町サロン第9回
21日	養成講座	大阪府門真市	門真市社会福祉協議会
22日	教室	京都府城陽市	まごころ城陽②
23日	教室	京都府宇治市	北宇治地域包括支援センター
24日	教室	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課
25日	養成講座	兵庫県神戸市	サンケアホーム神戸三宮
25日	教室	京都市北区	鳳徳サロン
26日	教室	滋賀県大津市	比良里山クラブ
27日	教室	京都市北区	鷹ヶ峯学区社協すこやか学級分科会
28日	教室	京都府宇治市	とんがりやまのてっぺん DE

3月

2日	養成講座	大阪府門真市	門真市社会福祉協議会
3日	教室	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課
5日	学習会	広島市	Weフォーラム2017 in 広島 第2分科会
5日	教室	京都府宇治市	平盛学区福祉委員会
7日	養成講座	大阪府門真市	門真市社会福祉協議会
8日	教室	京都府井手町	井手町地域包括支援センター
8日	教室	木津川市	木津川台ゆーゆークラブ
9日	教室	大阪府門真市	門真市社会福祉協議会
9日	研修会	兵庫県丹波市	兵庫県丹波市高齢者あんしんセンター
10日	教室	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課
10日	教室	京都市右京区	西院脳活性化教室
11日	養成講座	兵庫県神戸市	サンケアホーム神戸三宮
11日	教室	京都市北区	鳳徳サロン
13日	教室	京都府宇治市	GH 鳳凰榎島
13日	教室	京都府宇治市	ふあみりいの会同窓会
15日	教室	京都府城陽市	まごころ城陽③
16日	養成講座	京都府宇治市	青い鳥リーダー養成講座 33- ③
17日	教室	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課
17日	教室	京都市山科区	ウイズフィール京都山科健康教室
18日	教室	京都市中京区	円町サロン第10回
19日	教室	滋賀県大津市	比良里山クラブ
19日	教室	京都府宇治市	宇治明星園養護老人ホーム
22日	教室	京都府城陽市	まごころ城陽④
23日	教室	京都府宇治市	北宇治地域包括支援センター
24日	教室	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課
25日	養成講座	兵庫県神戸市	サンケアホーム神戸三宮
25日	教室	京都市北区	鳳徳サロン
27日	養成講座	三重県松阪市	松阪市第二包括支援センター
27日	講演	三重県松阪市	松阪市第二包括支援センター
28日	教室	京都府宇治市	とんがりやまのてっぺん DE
30日	養成講座	京都府宇治市	青い鳥リーダー養成講座 33- ④
31日	教室	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課